

船橋市生涯スポーツ推進計画 用語集

頁	用語	説明
1	ライフステージ	人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。
1	船橋市総合計画後期基本計画	「総合計画」は、市の政策目標を示し、それを実現するための施策や事業を関連づけて総合的・体系的にとりまとめた計画で、「基本構想」「基本計画」「実施計画」から構成される。
1	船橋の教育 ー教育振興ビジョン及び 後期教育振興基本計画ー	「学校教育の充実」をはじめ、「生涯学習や生涯スポーツの推進」、「歴史と文化遺産の継承」など、本市の教育ビジョンが示す教育の姿の実現のため、前期教育振興基本計画の着実な継続と新たな課題への取組を掲げ、策定された船橋市の教育の在り方を示した中長期の教育計画。
1	ふなばしー番星プラン	市の基本的な施策を体系的に定めた「船橋市総合計画後期基本計画」のもとに、市の教育が目指すべき方向性及び目標を明らかにした「船橋の教育」と整合性を図りながら、その他教育に関する個別計画や他部局の個別計画を総合的に勘案し、本市の生涯学習の目指す方向を示した第二次船橋市生涯学習基本構想・推進計画の愛称。
4	スポーツ健康都市宣言	私たち船橋市民は、地域に根ざしたスポーツ活動を通じて健康で豊かな心とからだを育て、活力ある近代的な都市をめざして、ここにスポーツ健康都市を宣言します。 ー 市民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康な生活を営もう。 ー みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり、子どもを健やかに育てよう。 ー スポーツを通じて、いきいきとした地域の輪を広げよう。 ー スポーツを通じて多くの仲間とふれあい、はずむ心を世界に伸ばそう。 昭和58年10月10日
4	スポーツ推進委員	船橋市におけるスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツ実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。具体的には、①地域におけるスポーツ行事の企画・運営・連絡調整、②地域活動への協力、③市の行事への協力を目的とする。
4	船橋市体育協会	昭和24年、船橋市のアマチュアスポーツ団体を統轄する唯一の団体として、市のスポーツ振興ならびに市民の体力の増進と健全な精神を養うことを目的に設立された。
4	スポーツと健康を推進する会	「船橋市スポーツと健康大学修了生」と「ふなばし市民大学校まちづくり学部スポーツコミュニケーション学科修了生」とで構成されている団体で、地域活動団体として船橋市の地域活性化と生涯スポーツの振興に貢献している。
4	総合型地域スポーツクラブ	身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、(1)子どもから高齢者まで(多世代)、(2)様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、(3)初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。
4	指定管理者	地方公共団体が、公の施設の管理を行わせるために、期間を定めて指定する団体のこと。
5	クラブ育成アドバイザー	総合型地域スポーツクラブの組織化を啓発し、設立や活動及び事務・経理処等運営全般について指導助言する。

7	施設の予約システム	市民が、気軽に体育施設をご利用いただけるように、コンピュータを活用した体育施設予約サービスを行っている。事前に利用者登録をすることにより、市内施設の利用申込みや抽選申込みなどの手続きを、インターネットや利用者端末等を通じて施設を訪問せずに行える。
7	ふなばし市民大学校	ふなばし市民大学校は、平成16年4月に各部署で実施していた「スポーツ健康大学」「ボランティア大学」「老人大学」「生涯学習コーディネーター養成講座」を統合し、開校。「スポーツ健康大学」「ボランティア大学」「生涯学習コーディネーター養成講座」は、まちづくり学部へ属し、「老人大学」は、いきいき学部へ属して、両学部で現在9学科を構成している。現在、まちづくり学部には、「スポーツコミュニケーション学科(定員30名)」「ボランティア入門学科(定員30名)」「生涯学習サポート学科(定員30名)」「ふなばしマイスター学科(定員30名)」の4学科、いきいき学部には、「一般教養学科(定員100人)」「健康学科(定員100人)」「パソコン学科(定員75人)」「陶芸学科(定員50人)」「園芸学科(定員50人)」の5学科をもって運営している。
13	国際交流	姉妹・友好都市をはじめ世界のあらゆる国々の都市や市民との間で、文化、教育、スポーツ等各分野において市民主体の交流を行うこと。
17	全国高等学校総合体育大会	全日制高校生のスポーツの祭典。通称インターハイあるいは更に略してインハイ(Inter-highschool championshipsより)、または高校総体と呼ぶことも多い。全国高等学校体育連盟の主催で毎年8月を中心に開催されるスポーツの総合競技大会。
17	国際千葉駅伝大会	千葉県千葉市を舞台に行われる、国際陸上競技連盟公認の駅伝国際大会。千葉県出身の青木半治の功績を讃え青木半治杯の名を冠する。
18	体力向上推進委員会	学校の教育活動全般を通じて、体育健康に関する指導を効果的に推進し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるため、校長教頭、教務主任、体育主任、養護教諭、栄養士保健主事等で構成される組織。
26	陸上競技場の第2種公認	日本陸上競技連盟の公認競技場の種類について、公認の陸上競技場には第一種から第五種まで区分がある。第一種は、日本選手権や、国際的な競技会に使用されます。走路一周は400m、直線走路9レーン以上、曲線走路9レーン以上、3,000m障害用施設が必要で、走り幅跳び、三段跳びの跳躍場6カ所以上、棒高跳びの跳躍場6カ所以上、ハンマー投げ、円盤投げ用サークルは兼用可で2カ所以上、砲丸投げ用サークルも2カ所必要とされる。収容人数は、芝生席も含め15,000人とされている。第二種は、加盟団体の選手権、地方における国際大会の開催に使用でき、レーン数や走路などの条件は第一種とあまり差がない。収容人数は5,000人以上となっている。
26	運動広場	軽スポーツのほかソフトボールや野球などができる広場。
26	まちかどスポーツ広場	市民が自由に軽スポーツ、バドミントン、キャッチボール、ドッジボールなどができる広場。